



参議院選挙の結果 アメリカと財界にモノ言えない 「二大政党」に国民的不信

暮らし最優先の政治と 人間らしく働ける職場の 実現へ!

はぐるま

日本共産党
川崎重工委員会

困ったときの110番
お気軽にご相談ください
秘密厳守

TEL : 341-3235
FAX : 341-3236
メールアドレス
spum69u9@pony.
ocn.ne.jp

ご意見や投稿など
もお寄せください

ホームページ <http://www.jcp-kawajyu.jp/>

携帯サイト <http://www.jcp-kawajyu.jp/i/>



日本共産党にご支持頂いたみなさんに心からお礼申し上げます。

昨年の総選挙では、自公政権が国民の厳しい批判を受けて、歴史的な大敗を喫し退場しました。

そして、今度は、民主党政権の迷走と裏切りに対し厳しい審判がくだされました。同時に、下図の得票数に見られるように、自民党政権への復帰を求めるものでもありませんでした。

あまりにアメリカと財界にモノ言えない政治の土俵に乗った「二大政党」全体に、国民的不信がつきつけられたというのが、参議院選挙の結果ではなかったでしょうか。

そして、その古い土俵に

読者からの投稿特集
(2~4ページ)

代わる新しい政治を国民的規模で採求する時代に入ったと言えるでしょう。

私たち日本共産党は、みなさんと固く連帯し、暮らし最優先の政治と人間らしく働ける職場の実現のために奮闘します。みなさんのご支持をよろしく願います。

参議院選挙の結果

	新議席	前回比	
		議席	得票数(万)
日本共産党	6	-1	-84.4
民主党	106	-10	-480.6
自民党	84	+13	-247.3
社民党	19	-2	-12.6
民社党	4	-1	-39.2
みんなの党	11	+10	

猛暑の中のお勤めたいへんご苦労様です。猛暑手当もほしいですね。お体には十分気をつけてください。

大河

アフリカ大陸で初のワールドカップは、観客数が300万人(3番目の記録)を超え、たいへん盛り上がりました。

初優勝したスペインは、見事な総合力でした。失点が1次リーグの2失点のみという強固な守備力と、それを土台にした攻撃的なパスサッカーは、今後の世界の主流となると言われています。

控え目で温厚で知られるデルボスケ・スペイン監督は、選手とよく会話して気分よくプレーできる環境をつくり、一人ひとりのモチベーションを高め、個性豊かな集団をつくりあげたと評されています。

攻撃的なパスサッカーを支えたのは、個々の高い技術は言うまでもありませんが、パスを出す相手への信頼と配慮を備えたチームワークではなかったでしょうか。

「高度な総合技術力」をめざす川重としては、スペインサッカーから学びとるべきことが多いのではなからうか。



読者の広場

川重株主総会(6月)でアスベスト・雇用問題等について要請 社長が派遣労働者を「調整弁」と発言

「職場に憲法を活かす会」から2名が出席し発言しました。(全体の出席者は676名。)

→アスベスト問題

要請 インターネットでアスベスト受診を呼びかけていますが、これでは対象者全員に届きません。川重でも新聞折り込みや電話で呼びかけてはどうか。特に下請け労働者にも呼びかけて欲しい。

会社回答 インターネットで、アスベスト受診の呼びかけとOB 5000人にダイレクトメールを送っている。



二 雇用問題

要請 昨年から今年3月まで多くの派遣労働者が辞めさせられ、残った人は請負や契約社員として働いていますが、「いつ辞めさせられるか不安で仕方がない」と言っています。雇用の安定のないところに技術の継承や企業の発展はありません。内部留保を使って雇用を守ってほしい。

会社回答 技術伝承プログラムを作っている。

要請 三菱長崎では企業内に保育所を作って労働者に喜ばれている。雇用を増やす上でも川重でも作ってはどうか。

会社回答 外国の工場では作るうと検討していますが、日本でも考えていきたい。貴重な意見ありがとうございます。

三 特別損失について

質問 アメリカの工場で人減らしをして多額の損失を出している。日本での人減らしは金は使っていない。これは川重が言っているミッションステートメント(使命)に違反しているのではないか。派遣労働者は何人減らしたのか。

会社回答

アメリカでは正社員を減らしたので退職金などに金がいった。日本では派遣労働者を切ったので金はいらなかった。派遣労働者は仕事量と雇用の調整弁としていて。どこの企業も行っている。法律には触れていない。派遣切りは派遣会社の責任である。派遣労働者は変動するので何人減らしたのかこの場では分からない。

抗議

調整弁とは何か！労働者を解雇して何人減らしたのかわからないとはどういいうことか！

会社回答

間違った言い方をしたのであれば、正さなければならぬかもしれない(社長)。派遣労働者は現在9000人です。減らした数はわからない(担当者)。

四 安全問題

要請 経験の浅い人や、高齢者に災害が多くなっている。安全教育の強化と、高齢者に危険な作業をやらさないようにしてほしい。

会社回答

労使で取り組んでいる。災害件数は減っている。

感想

株主には一株3円の配当がされた。川重のミッションステートメントには「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する」と謳っている。儲けは、株主よりも雇用を守るために使って欲しい。(神戸・H)

労働組合の選挙制度に一言！

会社に入社して労働組合の執行部や支部委員の選挙を数回経験しましたが、当初から疑問に思っていることがあります。それは、立候補している人の中から、一人が一名を選ぶのではなく、定員内の複数の人を選ぶ制度です。投票は一名を選び、当選者は上位から順に決めるべきではないでしょうか。(神戸・F)



播磨工場の組合選挙 驚いちゃいました

投票日に職場委員から「選挙まだのようですが、行ってくださいね」と言われ「昼休み前なのになぜ？」と不思議に思いながら、投票場所の食堂に行きました。

なんと、そこに投票用紙を記入する衝立のある場所が見当たりません。「記入場所はどこですか」と係の人に問いかけると、「ここ」と言って彼らの座っている前のテーブルを指差しました。驚いている私に、更に驚きが、下敷きと同じくらしいの衝立を置いたので「思わず「こんなところで書けない」と発しました。選挙は小学生の学級委員選挙から成人となつての国政選挙と色々経験をしています。記入内容が他人に見られる可能性がある選挙は初めてです。他の工場も同じ状況でしょうか？最後に、播磨工場労働組合へ、労働組合は民主主義の皆だと常々思っています。是非国政選挙と同程度の衝立のある投票所確保をお願いします。(播磨・H)

厚労・国交省への要請 行動(7月20日)

重工業業労組らが例年実施している厚労・国交省要請行動と一緒に参加しました。川重に関係する点を以下に紹介します。なお、約1106億円の税金で建て替えられた衆議院議員会館はたいへん立派なものでした。(神戸・Y)

ヘクリーニング・オフの悪用 に対する厚労省の回答

同じ会社内の複数の派遣業務で、順次クリーニング期間を設け、派遣期間の制限を回避するケースは(明石工場単車製造部門がその例)、ただちに法違反とは言えないが、労働者派遣法

の趣旨から助言の対象となる。できるだけ直接雇用して下さいといつことになる。

このような実態あるいはおそれがある場合、労働局へ相談して下さい。指導課の方が就業現場を見て、法違反があれば是正指導をする。このことについては、労働局に口を酸っぱくなるほど指導している。

要請 厚労省は、脱法は許さないという姿勢で臨むべきだ。

日本造船業の今後の見 通し 国交省海事局船 舶産業課長のお話

・需要の見通しとして、中長期的には中国の経済発展もあり右肩上がりだが、2013年から建造能力

と需要にギャップを生じ、不況がくると思う。かつて造船不況のとき、日本が生産を引き締めれば価格は戻ったが、いまはだめ。世界の造船界で供給を絞める合意は難しい。日本に造船業を残せるかの瀬戸際にきている。

・日本は、世界の中で有数の海運会社を3つ持っている。受注の7割が日本船主の発注。国として、CO2削減の技術開発や省エネをすすめており、各社がやりたい技術に補助していく。海運会社と共同で技術力をアップしていく、これで競争力を高めていく、これしかないと思うている。

・「成長戦略」は5つの分野がある。その一つに海洋、ここに海運・港湾・造船が含まれている。港湾では、韓国の釜山、中国の上海、これらに勝てるようなハブ港をつくる。日本に船主がいなくなるためなので、日本の発着貨物を増やしていく必要がある。

・これからの造船では、有期雇用では会社として続かない。高い生産性を維持するための技能者が集まらない。会社の競争力を支えるに必要な人たちは、安定的な形で雇用すべきだ
と思う。



現在、派遣として働いているのですが、正社員(班長)の態度が悪くて困っています。仕事のミスで指導教育されるのは仕方ないと思いますが、まるでヤクザかチンピラのように喧嘩腰で怒鳴られ・・・あげくの果てには、「お前なんか首にしてもたろか!」などと、人の足もとを見た発言をします。“なぜそんな喧嘩腰に言うのか?”とこちらからも問うと、「腹が立つ、ムカつく・・・」

職場長にも相談を考えましたが、職場の風紀がどうも全体的にそんな感じなので・・・

(KPM 派遣社員)

昼休み時間の12時消灯は止めてほしい。暗い中での昼食は、本当にみじめになります。職場が食堂になっているのだから、昼休み中は電気をつけてほしい。エコより環境改善を第一に。

(神戸本社)

持ち株ですが、正社員だけ配布された資料に“6%の奨励金が支給”となっています。同じように働いている派遣・契約社員にはありません。不公平です!

(コガネムシ)

川重はこれまで、派遣労働者の雇い止め、ゴミ焼却炉の談合問題、基準を超える窒素酸化物の排出等、種々の問題を起こしており、地域・社会から認められる状況ではありませんでした。

10月の4社再統合を機に、業績の追求だけでなく、地域・社会に貢献し、世間から「いい会社」だと言われるような会社になってほしい。(神戸工場 T)

今年の納涼祭

毎年の納涼祭は、盆休み前にホッと気持ちしが和むひと時になっています。

でも今年はグラウンドがビル建設工事で使えないため、正門からの道路に椅子を並べ、屋台が出てのビア・ガーデン会場となりました。熱中症にかかる人もいた猛暑の毎日でしたので、思うほどの人が集まりませんでした。

機械の現場では、機械食堂で納涼会を行なっていました。店を予約してところも多いらしく、食堂内はガラ〜ンと空っぽでした。何はともあれ日頃机を並べて仕事している者同士が、仕事を離れ冷たいビールを飲みながら歓談したり、久しぶりに声をかけた人もいて、楽しい気分が家路に着きました。

(神戸・H)



神戸工場に新ビル建設

神戸工場ではカワサキプラントシステムズが入居している5号館に代わる新ビルの建設が進められています。工事現場を5号館各階の窓際から見られるという事で、多くの従業員にとっては珍しく、勉強になると評判だったそうです。通常、工事現場はよく見かけますが、上から見られることはまずありません。

ところが、騒音問題から、防音シートが張られてしまいいつとういだけになってしまいました。窓際族が増えて仕事の効率が落ちると心配した訳ではないと思いますが、せめて透明のシートを張ってくれたら良いのにとの声も上がっています。

来年秋にはセキュリティの完備した新ビルが完成します。従業員の入退場記録もしっかり行い、サービス残業も一掃してもらいたいですね。

(神戸・A)



造船の製造現場では保護眼鏡を装着することを義務化する

川崎造船はこのたび、工場内作業時における保護眼鏡装着基準を定めました。今年の5月26日に神戸工場、作業中工具が左目に当たり、眼球破裂という災害の再発防止策として定められたものです。

「眼は、人間にとって最も重要な感覚器官でありながら、外傷に対しては極めて脆弱な器官である」との認識から、全国的に製造現場で保護眼鏡装着義務付けの傾向にあるようです。

川崎関連の全工場でも保護眼鏡の装着が義務化され災害防止に役立つことを願っています。(神戸・N)

兵庫工場新本館ビル

兵庫工場の12階建て新本館ビルは、リフレッシュルームが各階にあり、給茶機と自動販売機が置いてあって、数人座れるテーブルセットなどが置いてあります。その窓からは六甲の山並みが見渡せ、市街道路を走っている車やJRの列車の流れなどが見られます。

なかなか癒せる空間でもあります。それと車椅子が入れる4畳半くらいのスペースの身障者用トイレがいくつかあります。

このように見れば仕事に疲れたらリフレッシュルームで仲間とホッと一息ついて英気を養うことが出来、車椅子を使う身障者の人も働ける理想的な環境にある

ぶらり平城京散策

友人4人と奈良で開催中の「平城遷都1300年祭」に行きました。阪神三ノ宮から奈良へ乗り換え無

ことは間違いありません。

しかし、リフレッシュルームの使用や喫煙は、主に現場で採用されているQCタイムと称する(休憩時間ではない)AM10時とPM3時からの10分間のみ使用することを指導されています。

形だけでなく名実ともに働きやすい職場にしていきたいものです。

(兵庫・A)



しで行けます。「せんとく平城京1日乗車券」格安切符は三宮から奈良まで1日乗り放題で往復で1500円と大変お得です。

かんかん照りの暑い日でしたが大和西大寺、平城京跡、東大寺、猿沢の池、奈良町、薬師如来拜観をワイワイ楽しく散策しました。古の奈良の都の壮大な歴史ロマンに改めて感動しました。

色々なコースがありハイキングコースにも出来まです。格安切符は11月7日までです。他にも色々な割引チケットもあります。別途拝観料・入場料が必要ですが、1300年にタイムスリップを体感してみたいかがでしょうか。

(神戸・I)

「はぐるま」の感想

ビラに“アメリカと財界にモノ言える党”とありますが、アメリカがなぜそんなに悪いのか。僕はアメリカが好きなんです。

(アメリカ好きな より)

“サービス残業の根絶”これは納得です。僕は、せめてこれを何とかして欲しいと思っています。(KPM・I)

最近のニュースから

菅首相が比例定数削減の年内実行と答弁

比例代表は民意を反映する唯一の選挙制度です。国会議員が“身を切る”というなら、憲法違反の政党助成金(年総額約320億円)を廃止すべきです。

消費税増税の地ならしのために、「国民の民意」である比例代表を削減しようとするもので、日本の議会制民主主義を守るために決して許してはなりません。

